

平成29年度

印西市民アカデミーだより

第19号

第19回 印西市民アカデミー〈12月8日〉

講座 37 〈文化〉

講座名：『郷土名物「煎餅」の歴史と焼き体験』

講 師：関口米菓店主・岩崎米菓店主

会 場：中央公民館、関口米菓店、岩崎米菓店 10:00~12:00

香ばしい香りと味で知られる木下せんべいの始まりは江戸時代。木下河岸で乗り降りする客を相手に売っていました。特に、大正末から昭和の初めにかけて副業としてせんべいを商う店が増え、昭和11年の千葉県商工水産課「千葉県の土産品」にせんべいの産地として木下町が掲載されています。今も昔ながらの手法で一枚一枚丁寧に手作りが特徴です。

今回は、市内の関口米菓店さんと岩崎米菓店さんにおじゃまして、香ばしい醤油の香りが漂う店内でせんべいを焼いている様子を見学させていただきました。見学後、中央公民館に戻り、せんべい焼きを体験しました。炭火で各自一枚一枚焼いていくのですが、ちょっと焦げてしまところが愛嬌です。



関口米菓店



岩崎米菓店



和気あいあいと…

地域活動を体験

12月3日(日)、印西市民アカデミー地域活動課程に在籍する7名が亀成川を愛する会主催の「ケビンさんと里山観察しながら亀成川流域のゴミ拾い」のスタッフとして参加しました。



講座 38 〈法律〉

講座名：『ハッピーリタイアメント

～相続・資産管理について～』

講 師：法テラス千葉法律事務所 弁護士 渡邊 大貴氏

会 場：中央公民館 13:30~15:30

ほとんどのアカデミー生が「終活」を意識する年齢に達しているため、「相続」や「遺言」に関することには、人一倍関心があるようです。本日の講師は、これらのことに直接かかわっている現役の弁護士さんで、いろいろな事例を挙げてわかりやすく講義してくださいました。



『相続を考える時は、家系図を簡単に書いてみると、誰が、どれだけ相続するのかわかります。また、誰が、どのような順番でなくなったかも大事になります。さらに、どのように相続するのかは、遺言書がある場合とない場合で違ってきます。遺言には、自筆証書遺言と公正証書遺言があり、争いの「種」を防ぐには、公正証書遺言が無難とのこと。葬儀が争議にならないよう遺言を残しておくことが大事です!』

第20回の予定

■期日：1月11日(木) 10:00~15:30

◇講座39 〈教育〉 10:00~12:00

講座名：『地域の力で子どもを育てるには…』

講 師：家庭教育指導員 小島 洋子氏

会 場：本埜公民館

◇講座40 〈市民活動〉 13:30~15:30

講座名：『白鳥の郷で地域活動学ぶ』

講 師：白鳥を守る会 会長 出山 輝夫氏

会 場：本埜・白鳥飛来地

